

箱根町総合計画審議会第3回会議 会議録

1. 日 時 令和3年5月31日（月）午後1時30分～2時45分

2. 場 所 本庁舎4階 第1～3会議室

3. 出席者【委 員】

勝俣正志、松井弘子、鈴木茂男、和田猛、勝俣直子、
田中啓、森博行、土屋喜久夫、八木下博之
(欠席) 勝俣眞和

【箱根町】

石川企画観光部長、関田企画課長、早野企画課副課長、
杉山企画課企画調整係長、一寸木主事

【(株)サーベイリサーチセンター（委託業者）】

一杉浩史

4. 内 容

1 企画観光部長あいさつ

2 議 題

(1) 追加各種団体ヒアリング結果について

(2) 総合計画骨子案について

(3) その他

企画課長

1 企画観光部長あいさつ

みなさんこんにちは。ただいまから第3回総合計画審議会を開催いたします。はじめに、企画観光部長の石川よりご挨拶を申し上げます。

企画観光部長

皆さんこんにちは。本日はお忙しい中、先月に引き続きご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、日頃から町政運営にご協力いただき、この場をかりて厚くお礼を申し上げます。

本日は、第3回目となる審議会ですが、追加で実施しました団体ヒアリングの結果について、ご報告をさせていただくほか、第6次総合計画後期基本計画の骨子案のたたき台を皆様にご提示し、ご議論をいただきたいと思います。

毎回申し上げますが、委員の皆様には、住民目線やそ

それぞれの立場から、忌憚のない意見をお願いいたします
甚だ簡単でございますが、会議に先立ち、挨拶とさせていただきます。それではどうぞよろしくお願いいたします。

企画課長

本日の会議ですが、これまでと同様に新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、開催いたしますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

次に資料の確認をさせていただきます。会議次第、資料1「各種団体ヒアリング調査報告書」、資料2「総合計画骨子案」の3種類がお手元にありますか。

それでは、ご発言時の注意事項について、これまで同様ですが、皆様の前にある音声認識システムを使用いたします。議事の進行につきましては、総合計画審議会規則第4条第2項の規定により会長が行うこととされておりますので、会長よろしくお願いをいたします。

会 長

皆さんこんにちは。明日から6月ということで、観光には大変いい季節ですが、コロナが相変わらず収まらず、残念な思いをされている方が多いのではないかと思います。

今、皆さんに審議いただいている総合計画後期基本計画は大変重要な計画でございます。箱根町の今後を左右する計画ですので、ぜひ忌憚のないご意見いただければと思います。本日はよろしくお願いをいたします。

それでは議事に従って、進めてまいります。本日は議題が2つあります。まず議題1「追加各種団体ヒアリング結果について」、事務局から説明をお願いします。

(1) 追加各種団体ヒアリング結果について

事務局から、資料1を基に追加各種団体ヒアリング結果について説明した。

会 長

議題1は、3月と5月に分けて実施した団体向けのヒアリング結果についての説明でしたが、ご意見ご質問などがありましたらお願いします。

委 員

ヒアリングの7番に箱根中学校PTAとあります。これは小学校のPTAの方々は参加していないのですか。

- 事務局 今回ヒアリングをしたのは、箱根中学校のPTA連絡協議会で小学校のPTAはヒアリングしていません。
- 会 長 そうしますと小学校の関係者やPTAの方に今までに何か意見聴取する機会があったのですか。
- 事務局 小学校については、主に小学生の親が構成員である箱根町子ども会育成団体連絡協議会にヒアリングを行いましたので、小学校のPTAは、外させていただきました。
- 会 長 各団体からの共通点として、少子高齢化に関する問題点や課題の提起がありました。それは今に始まったことではなく、新しく出てきた課題ではないと思います。
私が資料を拝見して、多くの団体が役場には思い切ったことをしてほしいと言っているように思いますが、それについてはどのように受け止めていますか。
- 事務局 ヒアリングした団体からは、すぐに対応できないような要望も確かにありました。それらについては、今後、計画に入れられるものがあれば位置付けていき、計画的に予定を立てながら、対応していきたいと考えています。
- 会 長 今まさに後期基本計画を作っているので、大変参考になる意見をいただいたと思いますが、具体的に何か計画に盛り込めそうな提案や意見はありましたか。
- 事務局 子ども会育成団体連絡協議会から、防犯カメラを設置してほしいという話があり、この件は地域の自治会からも町に要望があります。今年度から新たに防犯カメラ設置に対する補助制度を創設しましたが、全てをすぐに設置することもできませんので、総合計画に位置づけ、進めていきたいと考えています。
- 会 長 いくつか具体的な項目の頭出しができたという理解でよろしいですか。先ほどの説明には特になかったので確認させてもらいました。

- 委員 ヒアリング対象を町だけで決めたと思いますが、より広く、様々な団体の意見を聴取することが重要ではないかと思
います。この8団体はどういう根拠で選んだのでしょうか。
- 事務局 ヒアリング団体は、前期基本計画を策定した際にヒアリン
グした団体で現在も活動している団体を、選ばせていただき
ました。
- 委員 各種団体は少子化の問題、要するに後継者不足があると思
います。例えば消防団について、先日の新聞報道で全国的に
団員が不足していると書かれており、箱根町もその中に入っ
ていました。
各団体が少子化で加入者が減少しており、非常に先行きを
不安に思っている団体が多いと思います。前回の団体を選ん
だということですが、いろんな団体の意見を聴取したほうが
いいのではないかと思います。
- 会長 若干、同感な部分があります。コロナの影響もあり、少し
抑えたというところはあるかもしれませんが、町役場と関係
が深く、日ごろから状況を把握している団体にヒアリングす
るのではなく、こういう機会に新しい団体にヒアリングした
方がよかったのかなと思います。
- 委員 最初に出た意見ですが、やはり調査対象として、教育とい
う大きなくくりの中で小学校、その辺りを全て含めた意見を
聞かれたらいいかなと思いました。
- 会長 この審議会では様々な分野の代表の方が参加しています
ので、この場で計画に対する要望などありましたら、ご発言
いただいても結構です。いかがでしょうか。
- 委員 感想ですが、やはり箱根温泉旅館ホテル協同組合さんは、
箱根町は観光地として生きていくしかないという意見を言
われていますが、ハコネスティールさんなどは観光だけではな
く、もう一つ何か柱になるものがあつたらいいのではないか
と言っています。
多分、どの団体も自分たちを中心の意見をおっしゃると思
います。それを箱根町としての後期計画に入れていくのはな

かなか難しいことであると思いますが、町には頑張ってほしいと思います。

会 長

確かに立場によりいろいろな意見があると思いますので、それをいかに調整して、計画に盛り込むかというところが非常に難しいところですので、この場でも、いろいろとご意見いただきたいと思います。

委 員

各団体はどうしても自分の主張をしたいと思うので、それは仕方がないことですが、財政面のこともありますので、町としてできないことを縮小するのではなく、もっとコンパクトにできる部分はしていかないと、なかなか続かないと思います。実現できないような計画では意味がないと思いますので、町としても考えていただきたいです。

企画課長

委員さんおっしゃる通りだと思います。町の行財政運営の中で、これまでやってきたから、今後もやるという言葉はもう通用しないと思います。

また、予算面でもそうですが、スクラップアンドビルド（現在行っている事務事業について見直しを行い、時代的役割を終えた事業や費用対効果の低い事業を廃止して、時代環境の変化や新たな行政ニーズに対応する事業を新たに築き上げること）というのを基本には考えていますが、それが中途半端になっている部分もあると思います。

町の最上位計画である総合計画の策定にあたっては、今いただきましたご意見のとおりだと思いますので、メリハリをつけながら、計画を立てていければと考えています。

委 員

以前、箱根温泉旅館協同組合が発行した 90 年史を読んできましたら、いろいろとチャレンジした結果、先人者が箱根では農業ができなかったということが書いてありました。

今、渋沢栄一のドラマが放送されていますが、そのいところが仙石原に牧場を開いて、気象条件等いろいろな条件が合わないため結局は思いどおりにいきませんでした。物を作る、農作物を作る、家畜を飼う、家畜は限定されますけれど、いろいろと先人者はチャレンジして、温泉があるということで、観光に目を向けたわけです。それで、湯治の方を対象に

した旅館から始まったようです。

それから、戦後では日本の社会が変わってきまして、それで、藤田観光や東急などの大手企業が箱根に入ってきて、今の観光発展につながっているというようなことが90年史の中に謳ってあり、先人者がいろいろチャレンジした結果、箱根は観光で生きていく町という結論に達して、今に至っていると思います。

また、今、全国的に都市部でコンパクトシティー化を目指しており、隣の小田原市や秦野市もそうだと思います。

これは大学で勉強していた時に、私の先生が専門だったので、よく話を聞きましたが、やはりこれからはコンパクトシティー化が進むと思います。先ほどの発言の関連ですが、箱根町もコンパクトシティーまでいかないにしても、コンパクトなまちづくりを目指していくことが生き残るために重要だと私は思います。少子化に比例して移住者を呼び込むことなどで移住そして定住化を図っていく。真鶴町や湯河原町も大分移住者が増えてきている状況だと思います。箱根町がこれから生き残っていくためには、コンパクトなまちづくりということも重要だと思います。

会 長

今の発言は、町の成り立ちを踏まえてあり方を見直してはどうかということだと思うのですが、何かコメントがありましたらお願いします。

企画課長

箱根町の成り立ちとして、5町村が合併して、新しい箱根町となりましたが、やはり合併を経た町ということで、各地域の主張が強いという部分もあると思います。

これまでと同様なことをしては、大きな変化もなく、この先の時代の流れに取り残されてしまうという危惧もあります。地域の調和はもちろん大事ですが、各地域を点で捉えるのではなく、箱根町全体という視点で、なるべく捉えるように考え方をシフトしていく必要もあるのではないかと考えています。

委 員

以前から比べると箱根の地域性は、すごく少なくなってきました。昔は5地域ごとに地域意識が強く、対抗意識がありました。今は住民が一つになってきていると思います。100パーセントまではいきませんが、人口も減ったこともあ

りますが一体感がでてきていると思います。

会 長

県内で総合計画を改定している団体があると思いますが、どういう動向なのか、また、どのような特徴なのか、把握している範囲で結構ですので教えていただきたいと思います。

委 員

県西地域で総合計画を見直ししている市町がいくつかあるかと思いますが、コロナの影響もあり、新たな生活様式などを含めて、見直ししているところが多いと思います。

神奈川県では、県西地域活性化プロジェクトを行っていますが、前年度見直しをしました。やはり、コロナの影響や社会変化、そのようなものが大きく変化しているということで改定をしました。

その際の課題は、人口減少で、若い人が少なくなったということは、県西地域の全般的な課題であり、そういう認識のもとで、計画の中でもそれらに対応した施策を強化していく必要があると思います。

参考に紹介しますと、箱根町は観光が盛んですが、昨年、県では、コロナの関係でワーケーションのモデル事業を行いました。新しい生活様式、働き方改革、そのような部分で仕事とバケーションを絡めたワーケーションとして県西地域に来てもらい、その後も働いてもらう、また移住定住等そういう形につなげていく方法もあると思います。

会 長

やはり県西部で人口減少の問題は共通していますが、ワーケーションというのは、ある意味チャンスでもあります。私の勤務地は静岡県ですが、ワーケーションで静岡県までは来てくれません。やはり東京の周辺までと感じますので、神奈川県だとかなり可能性があると思います。

この後、骨子案に入るのでその前に確認しますが、前回配付された予定表では、5月中に町民ワークショップを実施予定となっていました。どうなりましたか。また、職員ワークショップは行っていると思いますが、何か報告することありますか。

事務局

職員ワークショップについては、まず、5月18日、24日で2日間、SDGsに関する研修を実施し、その後、職員の

庁内ワークショップのメンバーは、町民ワークショップに参加する形としました。

町民ワークショップについては、コロナ禍を踏まえ、一度に参加者が集まるのを避けるため、2回に分けて実施する予定です。まず、5月27日に約20名で実施し、次回を6月3日（木）に19名で実施する予定です。

会 長 町民ワークショップは何をするのですか。

事務局 町民のワークショップでは、グループに分かれて、「持続可能なまちづくりのためにみんなでできること」というテーマで、それぞれ話し合いをしながら、SDGsの17のゴールについてワークショップをしています。

会 長 わかりました。ワークショップの実施内容や時期からすると、議題2で骨子案が出てきますが、こちらにはほとんど関係がないという理解でよろしいですか。

事務局 そのとおりです。

会 長 ほかにはいかがでしょうか。議題1について皆さんの意見では、もう少しヒアリング団体を増やした方が良いのではないかという意見やもう少し箱根の在り方について、いろいろ考えて盛り込んでいく必要があるというような意見だったと思います。よろしいでしょうか。

それでは議題1を終了させていただきたいと思います。次に議題2「総合計画骨子案について」です。事務局から説明をお願いいたします。

(2) 総合計画骨子案について

事務局から、資料2を基に総合計画骨子案について説明した。

会 長 ありがとうございます。資料2が骨子案ということで、後期基本計画の骨組みがこういう形であるという説明でした。

この資料について何か意見をくださいと言われても、体系のリストだけなので難しいのではないのでしょうか。赤字部分

	<p>の場所や表記についてはご意見があるかもしれませんが、それ以上、意見するのは難しいということに、多分、異論がある方はいないと思います。我々にどのような意見を期待しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>資料2の欄外に、主な追加・変更想定項目という欄があると思います。例えば、「施策1 健康づくりの推進」では、フレイルの予防という記入があります。</p> <p>また、「施策4 高齢者福祉の充実」のように何も書いてないものがありますが、委員さんから何か追加した方が良いという項目等があれば、ご意見をいただければと思います。</p> <p>記載する施策の位置や用語が適当ではないといった意見でも構いませんので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>基本目標6に「SDGsの推進」が追加されています。前回の審議会で、箱根町では17ゴールがあるうちのいくつかを重点的にピックアップして推進していくという話があったと思いますが、それは決まりましたか。</p>
事務局	<p>それはまだ決定していません。現在、町民ワークショップを実施しているので、その意見を参考にして決めたいと考えています。</p>
会長	<p>確認ですが、今の説明は施策35の内容に関することですか。既存の施策体系の中にもSDGsに関係するものは沢山ありますが、その整理はどうなるのでしょうか。</p>
事務局	<p>SDGsに関しては、各施策の中には入れ込まずに施策35という単独で表記を考えています。</p>
会長	<p>それは可能なのでしょうか。SDGsというのは、ほぼあらゆる分野を網羅しているため、例えば、福祉的なものも入っています。そうすると、施策35にまとめるということは、もともとあった施策からSDGsに関係する部分を抜き出して、施策35にまとめるという意味合いですか。</p>
委託業者	<p>補足で説明いたします。今、会長さんが言うように、SD</p>

- (サバ・リサーチセンター) G s は全ての施策に関連しています。他の自治体で最近策定されていたプランを拝見すると、それぞれの施策の中にSDG s のゴールのアイコンをペタペタと張りつけているところが大分増えてきました。
- 今回どうするかを皆さんに協議いただければと思いますが、事務局の意向としては、他団体のような形ではなく、箱根町として重点的に取組めそうなものからスモールスタートをしてみてもいいだろうということです。
- 17 ゴールに向けて、全てを一気にスタートするのではなく、箱根らしいSDG s の取組みに重点を置くということを考えています。それを施策 35 で表現したいと伺っています。
- 会 長 今回の説明は理解しましたが、そうなる、まさに骨子案というときには、SDG s でスモールスタートに当たるものがどういう分野で、どういう取組なのかを出していただかないと議論できないと思います。SDG s に関するワークショップが最近だったということもあり、検討が遅れているということでしょうか。
- 事務局 ワークショップは予定よりも1週間ほど遅れています。
- 会 長 SDG s に関しどの分野に注力するかが決まらなないと、他の施策の内容が固められないと思います。
- また、先ほど資料2の右側にある主な追加・変更想定項目について意見をいただきたいということでしたが、これはもう具体的な施策や事業レベルの内容が入っているようなので、骨子ではないと思いますが、今ここで、その話をして良いのですか。
- 骨子案として、この段階で出てくる資料としては不十分ではないかと思いますが、庁内でこれが骨子案として、しっかりとオーソライズ（承認される）されているものなのでしょうか。
- 企画観光部長 後期基本計画の策定にあたっては、庁内に設置した策定本部会議とこの審議会がうまくリンクするような形で進めています。前期基本計画の策定時もそうでしたが、審議会での意見を踏まえた上で、庁内の本部会議で議論しておりますので、本日、忌憚ない意見をいただき、それをまた本部会議で

膨らませていくということを考えています。

ただし、先ほど担当並びに委託業者の方から説明ありましたとおり、後期基本計画のSDGsの扱いについては、全ての施策に張りつけるのではなく、一部をピックアップするという考え方については、庁内でオーソライズできております。

会 長

これはまだ本部会議で了承されていないレベルという理解でよろしいのですか。

事務局

そのとおりです。

会 長

骨子案の前のたたき台として意見を出して欲しいということですので、この資料では分からない部分も沢山ありますが、もう少しこうしたらいというような意見や質問等もいただければと思います。

委 員

参考ですが、先日、松田町がSDGs未来都市に選定されました。やはり総合計画もSDGsの要素を含んだ内容や項目立てにしてあります。SDGsを重点化するというのは理解しますが、例えば、環境問題も全てSDGsに関連するので、「施策22環境型社会の形成」もSDGsの要素を含んでいますという説明の方がいいのではないかと思います。SDGsは全てにリンクするところがありますので、松田町はそのような形にしているのではないかと思います。

事務局

今のご意見は、例えば、「施策1健康づくりの推進」は、SDGsの17のゴールのうち、いくつかをつけたほうがいいという意見でよろしいですか。

委 員

わかりやすい計画を策定するのがやはり重要だと思います。

企画課長

SDGsの関係ですが、前期基本計画では、記述自体がありませんが、先ほど会長も言われていましたが、全ての事業で何かしらSDGsに関連があると思います。

わかりやすい総合計画をという視点からすると、SDGsの推進という施策を大きくタイトルで掲げると、今まで何も

SDGsの視点がなかったのではないかと誤解を招くことも若干危惧されます。

現時点ではまだたたき台なので、各施策に例えば、この施策はこのゴールに関連するものであると表示することが、住民の皆さんに広く理解していただけるきっかけになるのであれば、その方向で調整していきたいと考えています。

会 長

先ほど言ったように、もともとある総合計画にここはSDGsに関係があることを示すために、SDGsのアイコンをペタペタと貼付ける行為を我々研究者はアイコン表記型と若干皮肉を込めた言い方をしており、単にアイコンを張りつけるのは、やめたほうがいいと思います。

スモールスタートするという方針は結構ですが、その場合も、箱根町では、SDGsにこう取り組むというグランドデザインがあった上で、スモールスタートはこうする。

あるいは、今はスモールスタートから始めて、そのうちにグランドデザインを作りますということでもいいのですが、先ほどの説明では、研修を受けた職員が、住民と一緒にワークショップを実施し、そこで何かSDGsのモデルみたいなものを出してもらい、それをそのまま採用するというような乱暴な話に聞こえてしまいます。

本来は、SDGsについて箱根町としてどう取り組むのかしっかりと議論したうえで、資料を出す必要があると思います。施策35に置きますということでは、検討が十分されていないとしか言いようがありません。

これで委員に意見をくださいと言われても、意見の出しようがないと思います。私もこの資料を見たのは金曜日なので、何もフィードバックできなくて申し訳ありませんが、こういう段階でのこの骨子案に対し、企画課長は今後どうしていきたいと考えていますか。

企画課長

今、会長から厳しいご指摘がありましたが、資料の内容や会議の進め方に不備があり、大変申し訳ございません。

本日は、骨子案のたたき台として資料を提示させていただきましたが、意見を伺える内容ではないということなので、次回以降の町側の宿題とさせていただきます。改めて、議論いただけるような資料を作成した上で、進めていきたいと思っています。

委員	<p>そうしますと資料2の1番上の重点施策の5番目に「持続可能なまちづくり」が追加されていますが、並列でここに置くのは違和感があるので、これも一緒に考えてもらいたいと思います。</p>
会長	<p>私もその部分を確認しようと思っていました。多分、ここにある「持続可能なまちづくり」というのは、町全体というよりは財政問題が一番中心なのではないかと思いますが、その辺りの説明も先ほど全然ありませんでした。</p> <p>しかし、持続可能なまちづくりというのは町全体に関わるもので、SDGs自体が持続可能な町づくりのための目標です。また、昨年度、アンケートやワークショップを行っていますが、この骨子案にどう生かされたかが、全く説明されていません。</p> <p>今日は、今の基本計画の体系は変えず、3つ項目を加えたということしか分かりません。当然細かいところでは、無くすもの、入れたりするものもあると思います。それは当然のことであるので、もう一度、再検討していただけないでしょうか。</p>
企画課長	<p>今回の骨子案たたき台については、事務局側で改めて検討した上でご提示させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>改めて作成する骨子案にこういうものを入れてほしい、こうしてほしい等、もしそのような要望がありましたら、ぜひいただきたいと思います。後日でも結構ですのでお願いします。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>施策36の追加項目でコロナ対策の推進ということで、コロナに絞っていますが、報道で感染症の専門家の話を聞いていると、今後はコロナ以外の感染症が発生することが危惧されると言っていました。</p> <p>過去にも、このような感染症が出て、人が亡くなったりしているので、コロナ対策に絞るのではなく、感染症対策の推進とした方がよいのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>この後期の5年間は、ただ今の発言のとおり、多分、新型</p>

コロナや、それ以外の感染症と付き合う、あるいは、対応方法を学ぶ期間になると思います。

このため、そのような理念や方向性、内容をどれだけ盛り込めるかが重要ですが、施策 36 の見出しだけでは分かりませんので、目に見える形に修正して頂きたいと思います。

委員

施策 2 の主な追加・変更想定項目にある、子どもの貧困について、中身は何をやりたいとお考えですか。

事務局

箱根町の中で子どもの貧困が目に見えていない部分があるかと思っています。そのような方がいない町にしたいと考えていますが、現段階では具体的に何をすることまで決まっておられません。

委員

施策 7 のワークライフバランスの働き方改革ですが、やはり町がまずモデルを作っていくべきであると思います。

私は、昨年、子どもが生まれ、育児休暇を取ろうと思いましたがコロナ禍で休みが非常に多く、有給も貯まっていたので、結果的には国の育休制度は使用せず、有給等で 10 連休取りました。

これ以外にも休暇を取り、多くの休みを取得できたので良かったですが、町としてはやはり働き方改革と書いてあっても、育休を取得している方が 1 人もいないと聞きましたので、まず町が先陣を切らないと駄目だと思います。率先して取り組んでほしいと思います。

企画課長

男性の育児休暇取得ですが、今まで取得者はいませんでした。たしか昨年度、男性職員が 1 週間ほど休暇を取らせてほしいという申出がありまして、職場としても最大限、その職員のバックアップをしました。

組織として推進していくことは掲げていましたが、なかなか実施例がない中で、最近になり取得例も出てきましたので、行政として、そのようなことが地域で行われるように率先して取り組む役割、役目があることは認識をしています。今後、さらに推進されるように、様々な面で尽力していきたいと思っています。

会長

他にいかがでしょうか。私の責任でもありますが、事前に

しっかりと事務局と内容を詰めておくべきでした。申し訳ありません。

次回にはしっかりとした骨子案が出てくるようにしていただきたいと思います。私も協力しますので、よろしくお願ひします。それではこの議題についてはよろしいでしょうか。

委員

施策 30 の多様な観光資源を活用した誘客と受入体制の整備について、主な追加・変更想定項目にはこね金太郎ラインの関係とありますが、4月28日に開通しました。

南足柄市と箱根町仙石原とは非常に近い距離で、昔から道はあり、人が行き来していたようです。道路が開通し、観光面でも利用されることを期待していますが、もう一つの同じ林道で足柄幹線林道を利用する人が、住民だけではなく通勤者も含め非常に多いと思います。

はこね金太郎ラインを実現するためには相当年数がかかったということは承知していますが、次は、箱根の道路の確保や渋滞対策として、足柄幹線林道についても、県道に格上げしてもらうように町の計画の中に謳ったらどうかと思います。

足柄幹線道路は、国道一号線の渋滞回避として非常に利用されているので住民向けにも、また、観光振興や発展の面でも実現すれば、町にとってメリットが多いと思います。

現状、全く白紙だと思いますが、計画ですので、そういう視点も含めることが総合計画ではないかと思います。実現するには、十年、十五年と年数がかかるとは思います、町の意向として明確に足柄幹線林道の整備を、計画の中に盛り込んだほうがいいかなという気がします。

企画課長

足柄幹線林道は宮城野地域から小田原市の久野におりていく林道で、現在、観光面や住民の利用という視点からすると、冬季は、凍結のため閉鎖している期間があるという状況であると思います。

委員さんの発言のとおり、住民の皆さんからも多く意見もありましたので、県林道課に行き話を伺ったところ、基本的には林業従事者のための道路ということでしたが、それに限定したものではなく、地域振興型林道という位置づけが神奈川県でされており、一般車両が通行していることは承知して

いるということでした。

しかし、一般道路ではないので道路のアスファルトの厚さが若干薄い等の安全面で国道と同じレベルでの通行というのは、現状できないと伺いました。

県では、例えば、安全対策や冬期の閉鎖期間を短くしてほしい等、個別具体的な要望をしていただければ、検討の余地はあると話していたので、関係部署である都市整備課や総務防災課等と連携しながら、住民の利便性向上、安全面の確保という視点から、できることはしていきたいと考えています。

会 長

そのほかいかがでしょうか。それでは事務局で、骨子案を再度検討していただけるということですので、もしこの後に何かご意見などありましたら、事務局に連絡いただければと思います。

それでは議題2は以上とさせていただきます。議題3として、その他で事務局から何かございますか。

事務局

本日、机上に第2回審議会の議事録を置かせていただきました。内容をご確認いただいて、6月11日（金）までに訂正等ありましたら、電話およびファクス、メールどれでも構いませんので、連絡をお願いしたいと思います。

会 長

この資料は公開されるときに名前が削除されるという理解でよろしいですか。

事務局

委員という形で表示されます。ご自身の発言内容について修正点がありましたら、お知らせいただければと思います。

会 長

今後の予定についてですが、前回、第4回審議会が7月頃と説明していましたが、第4回でかなり具体的な案が出て、第5回が9月、10月頃で最後となります。

ここで、基本計画案をほぼ決めるということでしたが、本日、骨子が決まらなかったため、今後のスケジュールはどうなりますか。会議の回数を増やすことは難しいでしょうか。

事務局

当初、7月末から8月頭にかけて、第4回総合計画審議会を予定していましたが、7月末から8月上旬には、間に合わ

ないかもしれませんが、8月の中旬から下旬にかけて、第4回を開催させていただきたいと思います。そこで、今回のご意見を踏まえた骨子案とできれば具体的な案を提示できるようにしたいと考えています。

会 長

当たり前のことですが、そこまで延ばすのであれば、具体的な計画案を出してください。その場合、骨子が決まらないと具体的な内容に入ることにはできないはずなので、骨子案を第4回審議会より前に各委員に送ってください。

それはいつ頃までにできますか。今後のスケジュールを考えると、6月末には骨子が固まってないと、その先の作業に進めず、8月下旬の審議会に間に合わないと思いますので、6月末に固めないといけません。

事務局

今回提示した骨子案を、修正して提示するということがよろしいですか。

会 長

この資料では駄目だと思います。細かいことについては、私がアドバイスします。6月末までに、しっかりと骨子案を各委員の方に送っていただき、皆様のご意見をいただいた上で、おおむね固まったら、具体的なものを肉づけし、その8月の第4回会議に間に合わせてください。そうしないと間に合わないと思います。

事務局

会長にはご相談をさせていただいて、なるべく6月末までに骨子案を提示できるようにします。

会 長

次回、第4回審議会の日程が少し後ろ倒しになりそうということで、8月は皆さんもお忙しいと思いますが、日程調整をしっかりとお願いします。最後に皆さんから何かございますか。よろしいですか。それでは、本日の審議事項は全て終了しましたので、これで閉会としたいと思います。事務局にお返しします。

事務局

本日はありがとうございました。以上をもちまして、第3回総合計画審議会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。